

# 現代における思春期と対象喪失 ～子どものこころの支援を対象喪失から考える～

2018年11月3日(土・祝)

助言者 **橋本 智恵美**

10:00～16:00

ひろしま思春期シンポジウム 実行委員長  
杉原心理相談室代表/臨床心理士

南区民文化センター  
3階大会議室

広島市南区比治山本町 16-27  
(南区役所向かい)

## ※おことわり

9月30日(日)に、指定討論に乾吉佑先生(専修大学名誉教授)をお迎えし、開催を予定しておりましたが、台風接近に伴い、延期となりました。乾先生のコメントをもとに、構成を変更し開催いたします。変更後の構成は裏面でご確認ください。

## ◇ 企画趣旨 ◇

このシンポジウムは、われわれの日常の心理臨床活動を検討し、討論を深め、相互に交流しながら、思春期の心理臨床にとって大切な視点を共有していきたいというものである。

思春期は個人差はあれ誰もが、様々な「変化」を体験しくぐっていく時期である。また、大人だけでなく子どもたちも育ちの中で様々な「別れ」を経験する。これら対象喪失においては喪の作業(悲しむこと)が重要である。支えとなる人たちとのアタッチメント(愛着)が、悲しむことを抱え、心的回復への力(レジリエンス)となる。しかし、現代では大人も子どももゆとりがなく、喪の作業を回避して先に進むことが優先され、その作業が先延ばしにされることが目立つ。それゆえ、思春期における適応の問題の背景に、今起きている対象喪失だけでなく、過去の対象喪失の問題が潜んでいることも多い。そこで今回は、子どもたちへの援助を考える上で対象喪失の視点を取り入れ、どのように役立てていくかについて考えてみたい。

進め方としては、シンポジストから、それぞれが日常臨床の中から今回のテーマについて、事例を素材にしながら話題提供をし、議論していく。思春期心理臨床にとって大切なことがワクワクと、しかも実感を持って感じられるシンポジウムにしていきたいと思う。

思春期の子どもとかかわる心理臨床家のみならず、教育、医療、福祉など幅広い領域の方々のご参加を呼びかけたい。

参加対象者：臨床心理士、教員、医師、守秘義務を持つ専門家・援助者、大学院生  
定員：80名

参加費：5,000円 (シンポジウム開催運営経費として)

※参加には、事前の申込みが必要です。申込用紙はホームページからダウンロードできます。

主催：ひろしま思春期シンポジウム実行委員会・杉原心理相談室

事務局：ホームスクリーニングセンターメイプル

〒731-0103 広島市安佐南区緑井1丁目27-4 グリーンシャトー畑井104

FAX(082)876-4332 E-mail shisyunkisymposium@yahoo.co.jp

後援：広島市教育委員会・広島思春期問題研究会

※ひろしま思春期シンポジウムホームページ

<http://shisyunkisympo-h.sakura.ne.jp/>

※臨床心理士ポイント申請予定

# ひろしま思春期シンポジウム「思春期の心理臨床を考える⑬」プログラム

9:30 受付開始

10:00 開会 ミニレクチャー 「現代における思春期と対象喪失」  
岡田 幸彦（トポスの森）

10:30 シンポジストから話題提供

\*学校現場の立場から 谷山 活秀（広島県立安古市高等学校）  
「教育相談から見る思春期の対象喪失」

\*心理臨床の立場から 杉原 太郎（杉原心理相談室）  
「悲しむ能力をはぐくむこと」

討議

司 会 岡田 幸彦 ・ 井上 房美（広島県立障害者療育支援センター）  
助 言 者 橋本 智恵美（杉原心理相談室） ・ シンポジスト ・ フロア

12:30 休憩

13:30 シンポジストから話題提供

\*精神科の立場から 井上 真一（瀬野川病院精神科）  
「強い希死念慮を訴えた女子高生の事例から」

\*小児科の立場から 湊崎 和範（広島西医療センター小児科）  
「発達障害の不登校事例から」

討議

司 会 岡田 幸彦 ・ 井上 房美  
助 言 者 橋本 智恵美 ・ シンポジスト ・ フロア

15:30 まとめ 「現代における思春期と対象喪失」

司 会 岡田 幸彦 ・ 井上 房美  
助 言 者 橋本 智恵美 ・ シンポジスト ・ フロア

16:00 閉会

## シンポジウム開催経緯

- 2006年 9月 日本心理臨床学会にて、自主シンポジウム「思春期の心理臨床を考える①」を開催  
テーマ「不登校・発達障害児を対象とする活動集団療法から学ぶ」  
指定討論者 国際基督教大学教授 小谷 英文先生
- 2007年 10月 第2回「思春期の子の新しい対象関係の体験をどう援助するか」以下広島で開催  
指定討論者 専修大学文学部心理学科教授 乾 吉佑先生
- 2008年 10月 第3回「思春期と対象喪失」 指定討論者 乾 吉佑先生
- 2009年 10月 第4回「思春期と幼児化」 指定討論者 乾 吉佑先生
- 2010年 11月 第5回「思春期と構造化」 指定討論者 乾 吉佑先生
- 2011年 10月 第6回「思春期の“自分”と“自分がない”を考える」 指定討論者 乾 吉佑先生
- 2012年 10月 第7回「思春期とところのスイッチング」 指定討論者 乾 吉佑先生
- 2013年 10月 第8回「思春期と現代の自己愛」 指定討論者 乾 吉佑先生
- 2014年 10月 第9回「思春期とコミュニケーションの障害」 指定討論者 乾 吉佑先生
- 2015年 11月 第10回「思春期における『幼児化』と『構造化』」 指定討論者 乾 吉佑先生
- 2016年 9月 第11回「思春期における『対象』と『かかわり』」 指定討論者 乾 吉佑先生
- 2017年 10月 第12回「ところのシャッターをおろす子どもたち」 指定討論者 乾 吉佑先生

[ひろしま思春期シンポジウム実行委員会]

実行委員長：橋本智恵美

実行委員：井上真一 井上房美 大原一祐 岡崎彩 岡田幸彦 杉原太郎 湊崎和範 宮川悦子